

携帯端末の 適正利用の 推進を



阿部 卓光 議員

議員 青少年インターネット環境整備法が平成21年4月1日から施行され、接続役務提供事業者には、青少年有害情報フィルタリングサービスの提供が義務付けられている。携帯電話やスマートフォンなどの安全・安心な利用のためにもフィルタリングサービスの利用推進や学校、家庭でのルール作りが必要と考え伺う。

教育長 小学生では、71割、中学生では、51割がフィルタリングサービスを受けていない、わからないという

た状況で、ある中学校の調査では有害サイトへのアクセスについて、中学1・2年生で約5割、中学3年生で約15割の生徒がアクセスしたことがあると回答しており、フィルタリングサービス利用は積極的に推進すべきと考えている。

学校には、情報モラル教育を教育課程に位置付け、適切に指導するよう指示している。また、使用のルールを決めていない家庭が4割以上あり、全ての学校において家庭内で使い方の再確

認など、保護者への働きかけを徹底するよう指導していく。

議員 農地中間管理機構では、農地の賃貸借の実施は7月以降からとして、市と相談し農地利用配分計画を作成するとしているが現状を伺う。

市長 受け手ごとの農地利用配分計画の作成に当たっては、農業委員会に農地の地番、地籍、賃貸借の有無などを確認しながら計画を作成し、県知事の認可を受け貸し付けることになるが、



ネット上の有害情報から子供を守ろう!

事務内容の調整が県、市、農協および農業委員会で行

われており、農業者への周知に遅れが出ている。

交通事故 防止の 看板設置を



佐々木幸一 議員

議員 交通事故の無い栗原市の実現に向け、運転者などに安全運転の啓発を行う看板・垂れ幕などを、交通の多い場所や市内入口などに設置すべきでないか。

市長 交通事故防止の重要な啓発手段である看板は、市内21か所に、交通安全協会など関係団体では市内25か所に設置している。今後、関係機関や団体と協議しながら適切な調整・管理を図っていく。

瀬峰総合運動場の 排水対策

議員 瀬峰総合運動場は、町制施行30周年となる昭和56年度に、野球場2面とテニスコート2面が完成した。その後、運動場の暗渠排水工事を行ったが、年数が経つて機能が低下したのか、昨年の地区民運動会は、前日の雨の影響で瀬峰地区だけが中止となった。今後のためにも、早急に暗渠排水工事を行うべきではないか。



ぬかる運動場を盛土で?

教育長 排水が悪いのは、老朽化による排水機能の低

下が考えられる。沈下やぬかるみが著しい場所へ盛土で対応したい。

議員 市防災訓練の2日前に晴れても、ぬかるため訓練参加車両がスリップしながら動いていた。盛土だけでは効果がないと思うが。

教育長 運動場は広く、暗渠排水工事を行うには多額の費用を要する。今後、総合計画などに位置づけ排水工事を行いたい。当面の間は、盛土で使用できるようにしていく。



さとう のりお 議員
佐藤 範男

**(仮称)栗原辻前線
整備計画の
具体化を**

議員 (仮称)栗原辻前線は、栗原北部エリアから東北新幹線くりにこま高原駅へのアクセスを図る基幹道路であるが、その計画は全く具体化していない。

辻前遠堀線を先行

議員 栗原辻前線は、現在驚沢で整備中の辻前遠堀線と一体的に整備すべき重要路線で、整備は辻前遠堀線を先行すると聞くが、この道路の進捗状況と完成は。

市長 この道路は、国道457号南郷八升から日向まで、

圃場整備で拡幅

での約2500坪の路線で、第1期は平成18年度に完了。現在の第2期は平成28年度に完了予定で、第3期事業は国道交差点など事業量も大きく、平成32年度ごろの完成と見込んでいる。

議員 県道栗駒岩出山線から辻前遠堀線までの西側は、県営圃場整備事業に取組む稲屋敷・袋地区の調査事業



整備が待たれる (仮称) 栗原辻前線

で、道路拡幅用地を確保する計画のようだが、当該地区の同意や事業が順調に推移した場合、工事着手と完

了の見通しはいかに。
市長 当該地区は現段階で96割の同意で、今年度中に県への申込みを目指す。関

平成28年度に具体化

議員 栗原地区から国道4号までの東側は、地形的な課題もあるが、関連事業の進捗や国県協議、沿線住民の合意形成などを考慮し、遅くとも平成28年度までに具体的計画を示すべきだ。
市長 平成28年度までに計画を示すことを約束する。



たかはし たかし 議員
高橋 渉

**小学校の
学校再編の
見直しについて**

議員 市内4小学校の再編が進んでいるが、計画当初と現況が大きく変化している。特に宮野小学校の場合、今後、児童数が減少するとは思えない。再度、関係者に説明すべきでは。

教育長

市立学校再編計画は、適正規模の確保を第一に考えている。宮野小学校は平成27年に築館小学校と再編する。玉沢小学校はPTAの合意を得ているが、宮野小学校については保護者合意に至っていないので、児童数の推移状況を踏まえ、

引き続き説明・意見交換を行っていく。

議員 学校が閉校になることは地域に及ぼす影響も大きい。また、1千人雇用の面においても、教育施設の整備が必要となるが。

市長 学校の閉校による地域への影響に対しては、コミュニティ一括交付金や自主防災組織の育成など、これからも努力していく。

**ILC国際リテラ
イダー計画に積極
的に関与を**

議員 ILC超精密素粒子衝突実験装置を宮城・岩手にまたがる北上山地に建設する計画が進んでいる。市もこの計画の中含まれており、実現すると、市としても劇的に発展が期待されるが、市としての取り組みはどうなっているのか。
市長 産・学・官で構成する東北ILC推進協議会や東北市長会が誘致を要望している。市としても独自にILC誘致に向けて、企業や市民に周知をしたい。



存続を望む宮野小学校

どうなる
栗原の医療、
果たせ説明責任



高橋 勝男 議員

議員 栗原医学部キャンパス構想で市長は、6年間で30億円補助を行うとしているが、その財源は。
市長 平成25年度予算では、市から栗原中央病院分への一般財源支出が5億3千万円になっているので、6年間5億円ずつの財政支援をしていきたい。
議員 栗原中央病院関係の企業債残高と処理方法は。
市長 平成25年度末で8億2876万円あり、今後の協議となるが、交付税措置が継続されるなど有利な方

法を検討していく。
議員 診療科目や救急診療はどうなるのか。
市長 救急や診療科目については、国で今後検討していく事になるが、大学附属病院になっても、栗原中央病院が果たしてきた地域医療を継承し、救急救命も含め、より充実された医療が展開されるものと期待している。
議員 病院職員の待遇は。
市長 構想が採択された後に県との協議となるが、市長として職員的生活を守る

責任がある。待遇面などで不利にならないよう、対応する。
議員 最終処分場建設問題と医学部構想が取引材料になるのではと懸念する声がある。
市長 「指定廃棄物の最終処分場は、絶対建設させない」「栗原市医学部キャンパス構想は、絶対実現する」この決意で取り組む。
その他の質問事項
①汚染稲わらの一時保管期間の延長への対応。
②幼稚園トイレの洋式化。



宮城大学医学部栗原キャンパス構想 (栗原中央病院)

教育委員会法改正で
教育の政治的
中立性は保たれるか



沼倉 猛 議員

議員 戦前の教育権は国家にあり、教育勅語を中心に国民は天皇の家来、天皇のために命を投げ出すのが最高の道徳と子供たちに教え国民を戦争に駆り立てた。これらの反省から戦後の教育権は地方自治体であり、首長から独立した行政機関とした。今回改正された地方教育行政法は、教育に対して、教育委員会の権限を弱め、国と首長の関与を大幅に強めるものとなっており、教育の政治的中立性が脅かされるものであるが市

長の認識はどうか。
市長 私はこれまでの制度で良いと考えている。新制度のもとでもこれまでの栗原の教育を引き継いでいく。
支所機能の充実を図れ
議員 国は合併自治体の交付税が合併後10年目から減額になることから、減額幅を4割〜5割縮小する方針を決定している。特に支所の役割を重視して支所の維持機能の強化などを図ると



平和な環境で教育を

して標準的な支所、一支所あたり2億4千万円を3年間交付税に上乗せするとしている。このことから計画にある総合支所の支所化は中止し、さらなる人員の削減はすべきでないのでは。
市長 総合支所の支所化による業務の違いは現在と相異なるものと考えている。今後は本庁、総合支所間の機能をさらに明確にする見直しが必要だが、市民の皆さんに支障をきたさない組織を検討していく。

松くい虫 予防と対策は



佐藤 千昭 議員

議員 市内の松の木に松くい虫が発生し、被害は年々拡大している。特に本年はエルニーニョということで蔓延することが予想される。このままでは市内から松の木が消滅するのではとの危機感がある。これまで松くい虫の調査や予防駆除は、どう行ってきたのか。

市長 定期調査や巡回パトロールにより被害木の早期発見に努めるとともに、近隣自治体の被害状況や取り組み事例などの情報収集と効果的な対策が講じられる

議員 よう検討している。駆除は伐倒駆除や薬剤散布、薬剤注入など計画的に被害の拡大防止に努めている。

市長 観光パンフレットとひとめぼれの新米を呈呈している。今後は栗原ブランド、地場産品、観光情報など積極的に展開し、多くの

議員 ふるさと納税で多額の寄付をつけ市政全般に活用してきた。お礼は一律だが、地場産品を活用する方法もあると思うがどうか。

市長 観光パンフレットとひとめぼれの新米を呈呈している。今後は栗原ブランド、地場産品、観光情報など積極的に展開し、多くの



年々拡大する松枯れ

方、栗原市を知っていたら、き応援いただけよう努めたい。提案は受け止めた。

議員 テレビの電波が弱く良好に受信できない地区がある。その確認と対応は。また、テレビ共聴組合の構成員が少なく維持管理に不安をいだく組合が多い。

市長 総務省テレビ受信センターが窓口となり相談や調査をしている。良好な受信対策が講じられるよう早めに周知を図っていく。

共聴施設の維持経費の負担軽減策など新たな支援制度の創設については国に強く要望していく。

「代読・代筆」 支援の充実を



三浦 善浩 議員

議員 ①高齢化率は。②潜在的なニーズは。③提案だが、プライベートを確保できる専門の支援員の養成に取り組むなどの仕組みを構築してはどうか。

市長 ①平成26年5月末現在、33・8割。②視覚障害者の方、一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯の方で、視力が低下し、読み書きに支障がある方など。③先進事例を参考に、調査研究をしていく。

議員 ①認識と取り組み状況は。②現時点の課題は。③構築の完了目標は。

市長 ①「医療」「介護」「予防」「住まい」「生活支援」を一体的に提供するシステムで、市町村が作るものと認識し、「地域ケア会議」の活動を推進するための説明を行っている。②介護と医療が連携して対応する仕組みづくりや在宅医療の充実、市民の意識醸



代読・代筆が望まれる窓口

成や生活支援サービスの担い手の確保、地域包括支援

センターの業務内容の見直しと強化など。

③平成29年度末。

議員 ①臨時福祉給付金と子育て世帯臨時特例給付金の対象者はそれぞれ何人か。②周知方法は。③いつ頃、給付されるのか。

市長 ①1万1594人と4089人。②6月16日、行政区長を通じて申請書の送付をしている。③12月15日までの6カ月間とし、審査の結果、支給を決定したもののから、順に支給をする。

どうなる介護保険



佐藤 文男 議員

議員 介護保険法の改正がなされ、要支援者の訪問介護・通所介護を現在の予防介護から切り離し、市町村が実施する「新しい総合事業」に移行することや、特養の入所対象者を原則要介護3以上に限定された。

①要支援者を地域支援事業に移行した場合の市の受け皿は整っているか。

②要支援の人数はどうか。

③特養の入所申込の中で介護度ごとの人数は。

市長 ①東京都第6期介護保険事業計画の中で、生活

支援サービス確保や地域包括支援センターの強化などを盛り込み、受け皿づくりに取り組む。

②平成25年度で要支援1、2は1085人である。

③合計345人で要介護1が39人、2が82人である。

議員 市民バスは25路線運行され、中には実態と合わない路線もある。

市長 ①東京都第6期介護保険事業計画の中で、生活

実態に合った市民バスの運行を

金が片道100円の均一料金となり、登下校利用者が増え、乗り切れない時もあり、家族の送迎に頼らざるを得ない状況にある。

こうした問題解決のための対策は。

市長 解消するための増便や大型バスへの変更は、委託業者との契約内容では直ちに対応できず、業者との協議が必要である。さらに増便運行を行う場合には国への申請手続きが必要となり、許可を受けるまでの時間を要することになる。



サービスの様子（山王サービスセンター）

実態を調査し、具体的にできるような努力をする。

先頭に立て指定廃棄物の建設問題



三塚 東 議員

議員 市長は、県立医学部栗原キャンパス構想の誘致運動と同様に、栗駒深山嶽への指定廃棄物の最終処分場建設反対の先頭に立ち、協議会を設置するなど市民の不安解消に取り組むべきではないか。

市長 県立医学部の誘致も大切であるが、もっと大切なのは深山嶽の問題だ。絶対反対するが、国に対し「適地ではない」ことを理路整然と説明していく。

議員 理路整然と説明するとしているが、「適地では

ない」とする科学的な資料や情報は瞬時に提出できる体制になっているのか。

市長 それぞれ担当部に調査、作成させ、市民生活部で取りまとめている。

全庁挙げ、総力戦で取り組んでいる。

議員 栗駒文字地区では、最終処分場「建設反対」ののぼり旗や看板を設置するなど、住民運動を展開している。市長はこの現状をどう思っているのか。

市長 文字地区、皆さん方の気持ちは痛いほどよくわ



準備に余念がない文字地区の皆さん

かっている。いずれ文字地区の皆さん方に説明しに行く。これが一番の証明になると思う。

県立高校の構想に大胆な提言を示せ

議員 市の総合計画のもと、工業団地の造成工事が始まった。ものづくりの技術者を育成する学科の充実を図るべきではないか。

教育長 人材を育成するため、小中高の連携が大切。今後、あるべき教育の姿について話し合いたい。